ほほえみ通信
2021 8 vol.92

うっかりドーピングに気を付けて

2021年東京オリンピック・パラリンピックが開催されました。素晴らしいパフォーマンスで私たちに感動を与えてくれるアスリート達ですが、彼らが気を付けないといけないことの一つに「ドーピング」があります。
病気の治療のための医薬品や、風邪薬などの市販薬、サプリメントなどの中には、スポーツにおいて禁止されている物質を含む場合があり、注意が必要です。

ドーピングって何？

ドーピングの語源は諸説あります。南アフリカの原住民が祭礼や戦いの際に飲んだアルコール度の高い酒を表す言葉が由来との説や、英語で浸すという意味の“DIP”が由来との説もあります。スポーツ競技能力を高めるために禁止された物質や方法を用いることを指します。また、隠ぺいしたり、ドーピング検査を拒否することも違反とされています。さらにコーチや監督がドーピングを支援した場合も罰せられることがあります。

うっかりドーピングって何？

競技力向上を目的にドーピングで使用する薬物は決して特別な薬ではなく、病気を治すために使われる医薬品も多く含まれています。例えば市販の風邪薬や健康食品、サプリメントなどにも含まれている場合があります。それらの禁止物質を含む医薬品などを、知らずに病気を治療する目的で使用し、結果的にドーピング違反になってしまうことを「うっかりドーピング」といいます。

うっかりドーピングを起こしやすい医薬品

市販のかぜ薬・せき止め・鼻炎用内服薬

市販されているかぜ薬、せき止め、鼻炎用内服薬の多くにドーピング禁止物質である興奮薬(エフェドリン、メチルエフェドリンなど)が含まれています。似たような名前にも注意が必要です。
薬の名前の頭に「新」、終わりに「錠」や「顆粒」が付くか否かによって、また、製薬会社が違うと、成分が異なることがあります。成分の確認が必要です。

漢方薬・滋養強壮剤

漢方薬は生薬から作られるため安全だと思われがちです。しかし、葛根湯に入っている「マオウ」は、興奮作用があるとして禁止されているエフェドリンを含みます。また、胃腸薬には同様に興奮作用により禁止されているストリキニーネ(ホミカ)という成分を含むものがあります。さらに滋養強壮といわれる栄養ドリンクやカプセルには様々な生薬が含まれています。ジャコウ、ロクジョウ、カイクジンなどは、筋肉増強作用のある男性ホルモン関連物質を含んでいます。

喘息の薬

喘息の薬には禁止薬が多く、注意が必要です。吸入薬(ステロイド、気管支拡張剤)の種類によって使用が限られ、その使用回数にも制限があります。気管支拡張剤の貼り薬は使用禁止です。

毛髪・体毛用の塗り薬

毛髪・体毛用の塗り薬の中には禁止物質である男性ホルモンが配合されているものがあります。
普段から使用しないようにしましょう。

2021 8 No.92

ほほえみ通信

うっかりドーピングを起こしやすい医薬品 （つづき）

口内炎・口唇炎の薬

ステロイドの入った口腔内への塗り薬、貼り薬は競技会時に禁止されます。病院でもらう薬のほか、市販薬もありますので成分を確かめて下さい。

のど飴・トローチ

のど飴は飴だから関係ないと思う方も多いかもしれませんが、中には禁止物質であるヒゲナミンやメチルエフェドリンを含むものもあります。注意してください。

サプリメント

サプリメントなどの健康食品は、全ての成分の表示義務がないので、表示されている成分に禁止物質がなくても安心できません。中には評判を上げるために意図的に、実際には表示されていないステロイドなどを添加した商品もあります。製造過程において、同じ工場で製造している他の商品の成分が混入してしまうこともあるとされています。海外製品など不明な点の多いものは購入しない方が賢明です。サプリメントは薬ではなく食品で、栄養バランスの改善や補助をしますが、栄養摂取の基本はあくまでも食事です。

「天然由来」という言葉は「何が含まれているか分からないよ」ということにもなるね。

筋肉増強剤

筋肉増強剤(蛋白同化男性化ステロイド)使用によるドーピング違反事例はオリンピックやワールドカップなどの国際大会での報告が後を絶ちません。蛋白同化ステロイド薬は、本来処方せんが無ければ入手することはできません。最近では、スポーツ雑誌や広告・通販・インターネット・個人輸入などの方法で入手する例も少なくありません。海外滞在中に自分自身での購入や人から譲ってもらい、国内に持ち帰る例もあります。

「アスリートは薬を使って病気を治せない」というわけではないんだよ。「治療使用特例」として認められれば禁止薬や禁止方法が使用できることもあるよ。

アスリートは通常摂取する食材にも注意が必要です。海外で食べた食肉にドーピング禁止物質が含まれていて、検査で検出されたと考えられる例が報告されています →

うっかりドーピングしないよう、些細なことでも相談してください。
相談する時のためにも、薬やサプリメントなどの外箱のコピーや薬の説明書を残しておきましょう。

ブリトー原因で薬物違反？ 米陸上選手、結局五輪選考出られず

2021年6月19日 13:42 発信地：ユージーン/米国

米陸上女子中距離のシェルビー・フーリハン（2018年7月21日撮影、資料写真）。(c)JASPER JACOBS / Belga / AFP

【6月19日AFP】陸上女子中距離のシェルビー・フーリハン（Shelby Houlihan、米国）は18日、ドーピング違反による資格停止処分の差し止め請求が認められなかったとして、同日行われる東京五輪の代表選考会に出場できなくなったと明かした。

女子1500メートルと5000メートルの米国記録保持者である28歳のフーリハンは、昨年12月のドーピング検査で禁止されるステロイドに陽性反応を示し、現在4年間の資格停止処分を受けているが、原因は汚染肉を含んだブリトーを食べたことだと主張していた。

お薬のことや健康のことで困っていることがありましたらご相談ください。

Pharmanet-mie
ほほえみ柳山薬局
TEL 059-213-3555